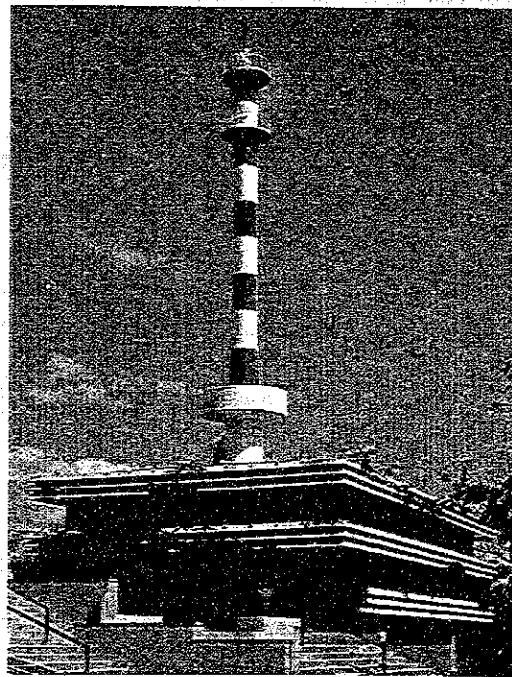
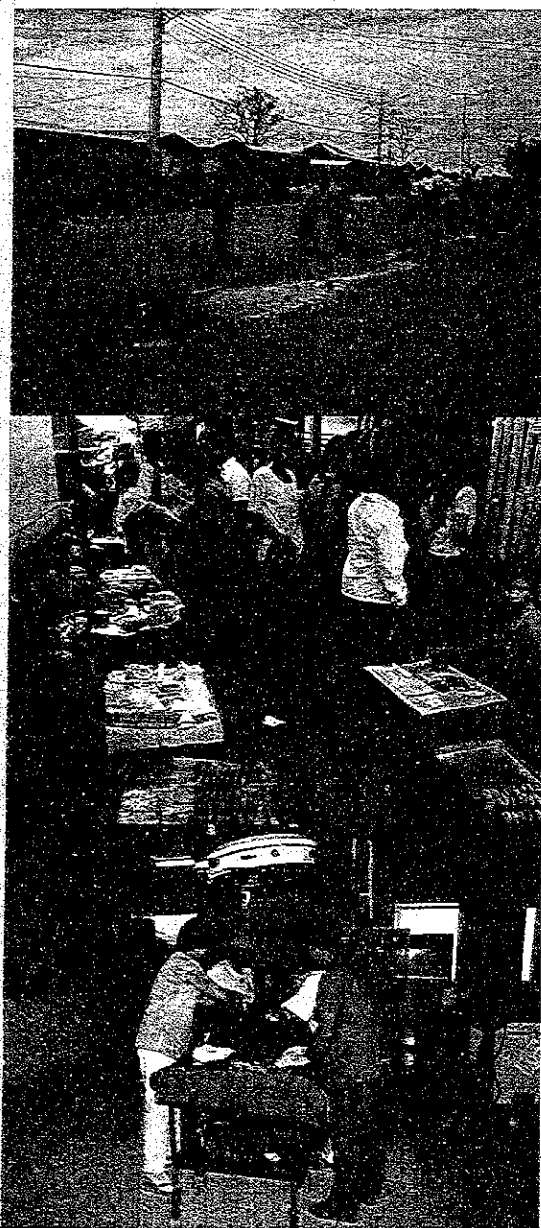


(プロジェクト方式技術協力・無償資金協力・専門家派遣)

タイ・モンクット王工科大学／わが国の協力により、昭和36年に電気通信訓練センターとして発足、昭和45年にモンクット王工科大学に昇格した。センター発足以来、わが国は電気通信分野における訓練と教育に関する協力を行ってきたが、昭和49年に無償資金協力でラカバンに新校舎を建設、昭和51年には第三回研修が開始され、今日では本分野ではタイ国内でもっとも高い評価を得ている工科大学である。

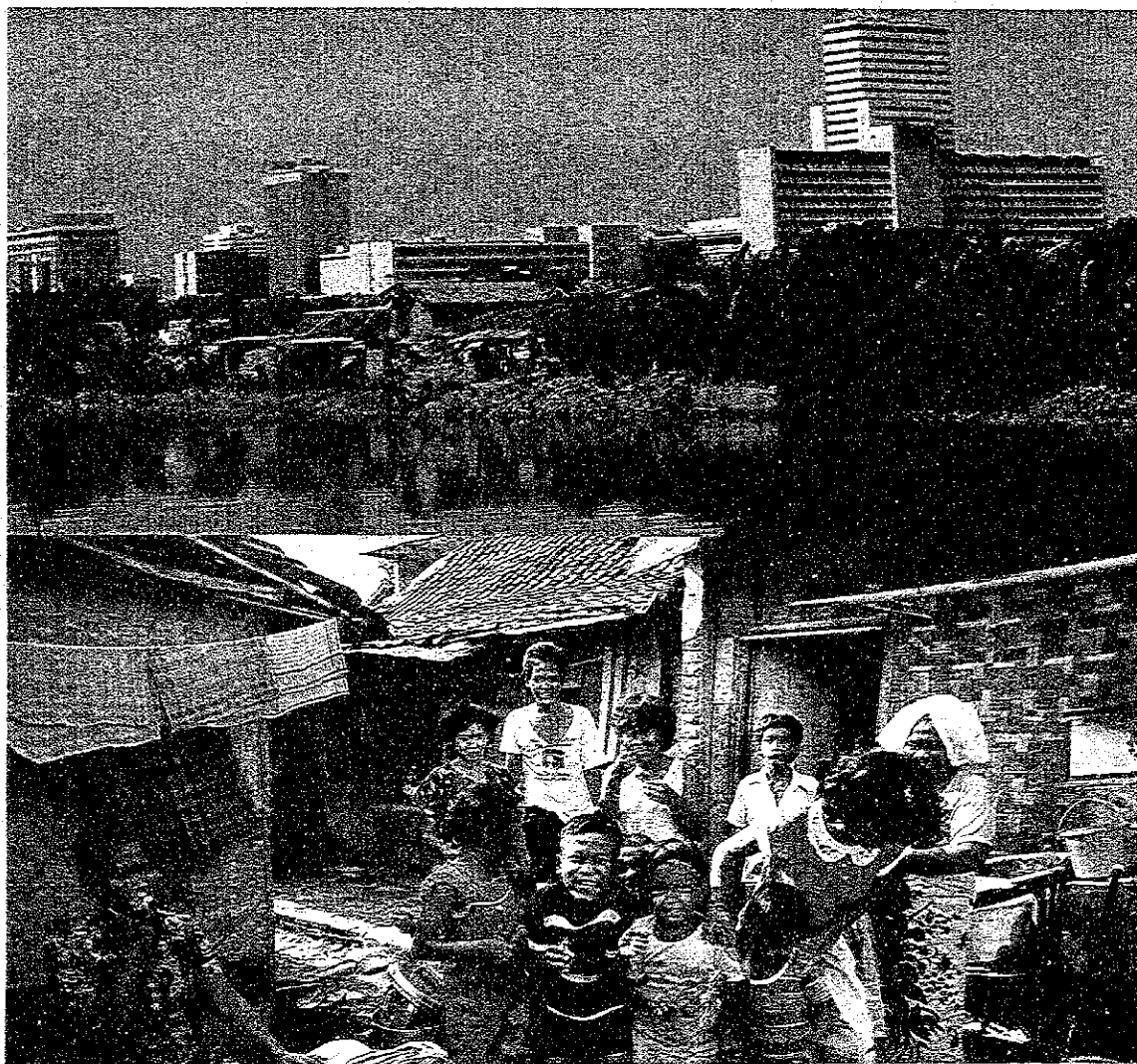
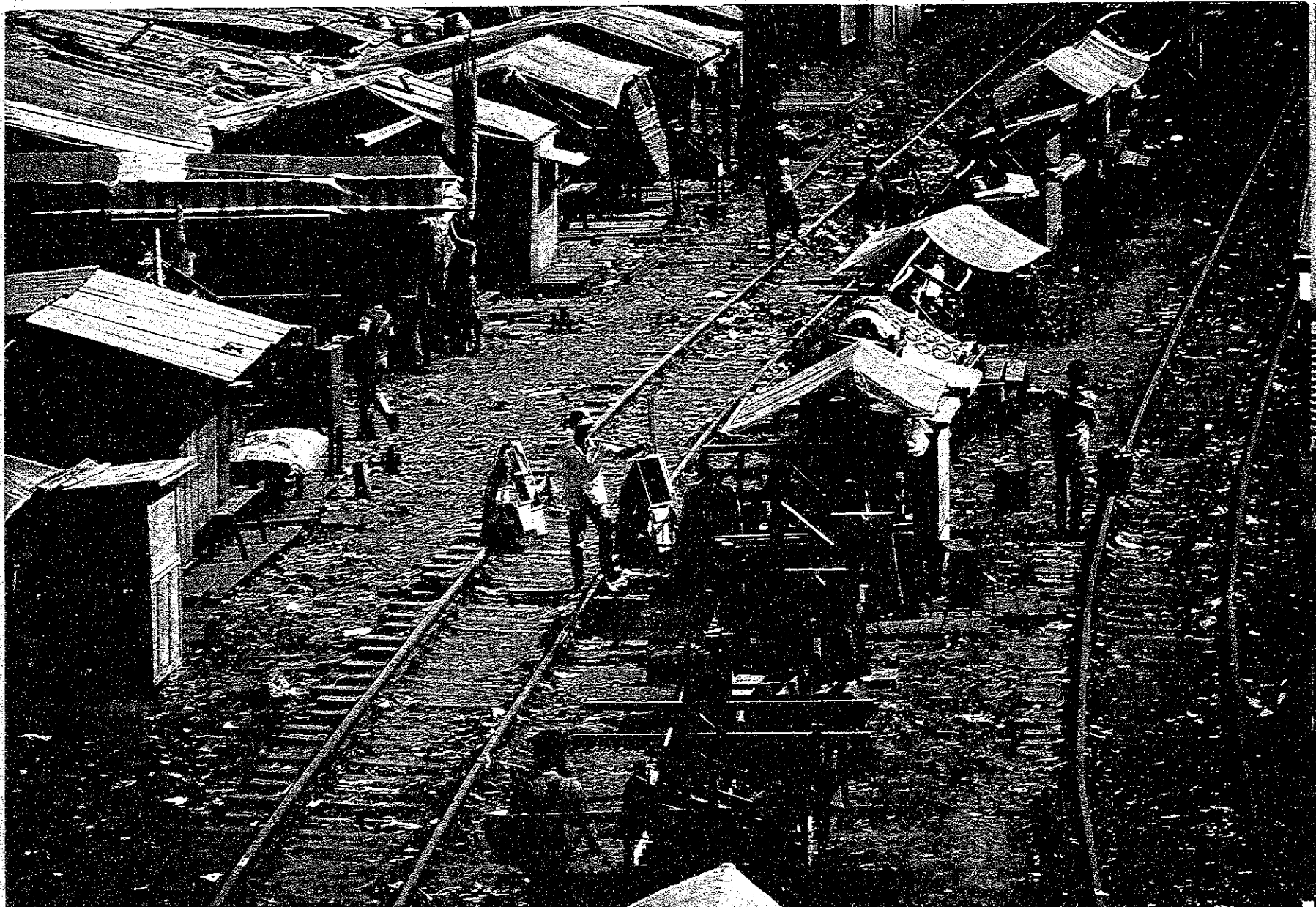




(医療協力・無償資金協力)

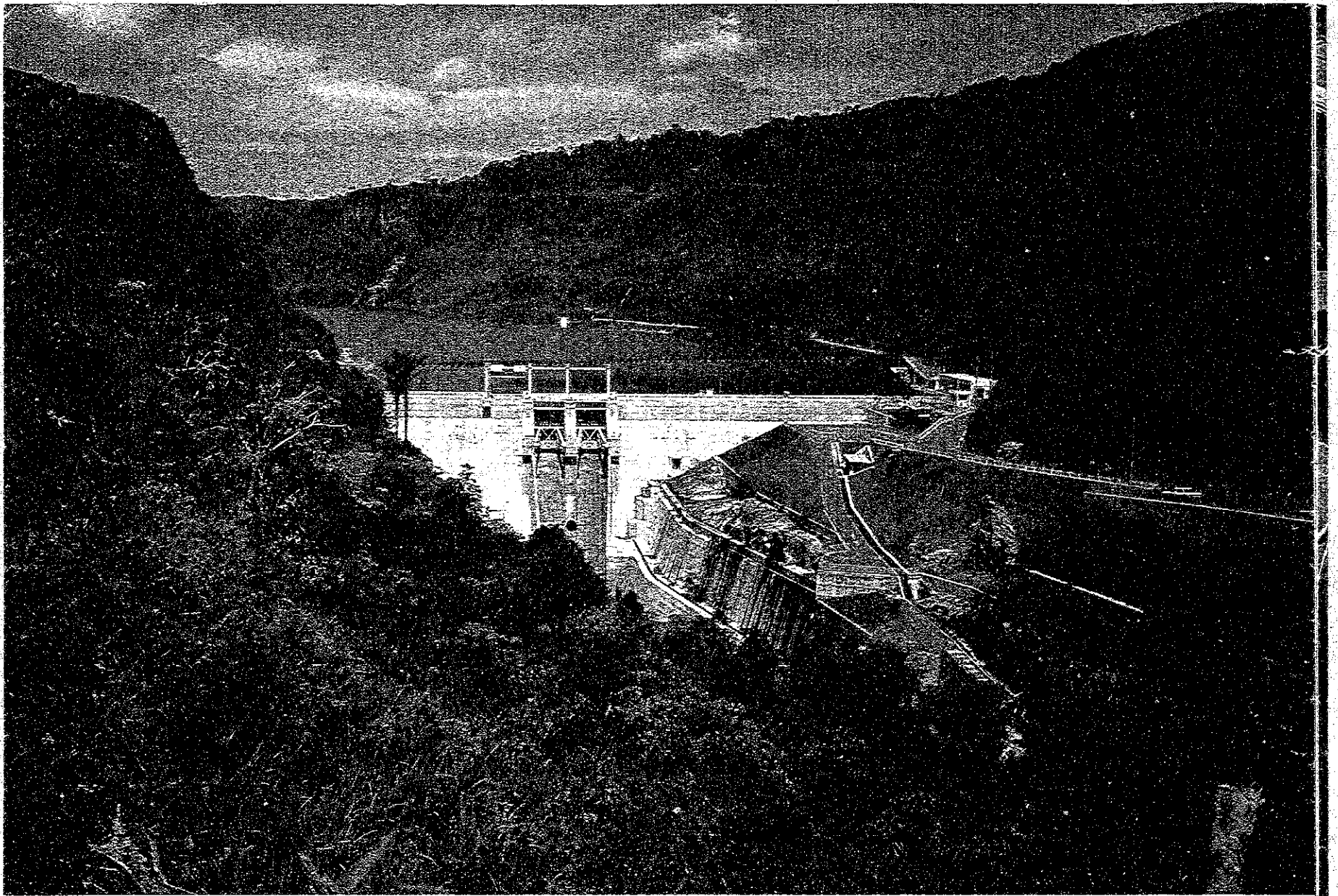
カンボジア難民救済事業／タイにおいてわが国は医師・看護婦の派遣をはじめとして、病院の建設や医療機器および薬の供与、飲料水の確保に至るまで幅広い援助活動を行っている。なお、昭和54年12月から昭和59年1月までの4年2ヵ月の間に派遣された医師・看護婦は延べ486人にのぼる。





(専門家派遣・開発調査)

インドネシア・ジャカルタ市街地再開発計画／ジャカルタ市内に数十カ所あるといわれているスラムを再開発して、新しい都市づくりの青写真を作る。



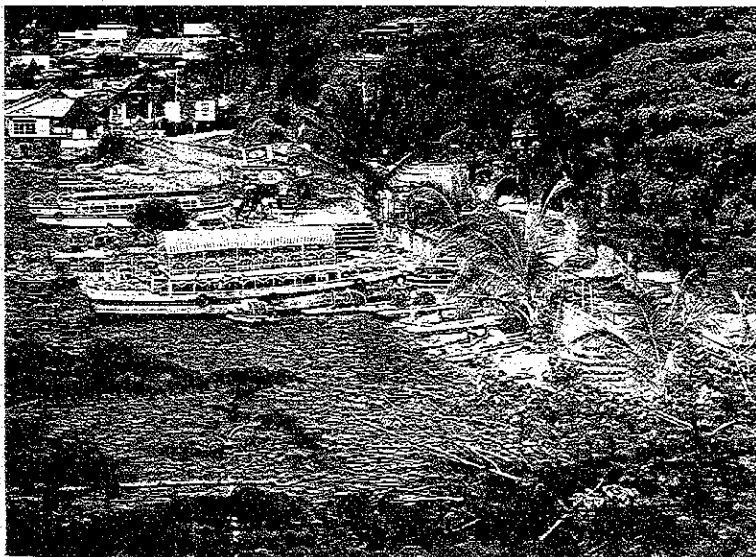
(開発投融資・開発調査)

インドネシア・アサハン水力発電計画／トバ湖を源とするアサハン川に水力発電所を建設し、インドネシア政府が力をいれている北スマトラ州のアサハン・アルミニウム精錬事業に必要な電力を供給する目的で、すでに日本の資金協力で建設されている第2水力発電所に加えて、JICAは昭和55年から57年に第1、第3水力発電所の建設に関するフィージビリティ調査を実施した。また、昭和51年度からアサハン・アルミニウム開発関連施設整備のための融資を行い、ニュータウンおよび港湾等関連施設の整備に協力した。アルミニウム精錬事業はすでに開始され、順調に進捗している。

アルミ精錬工場。

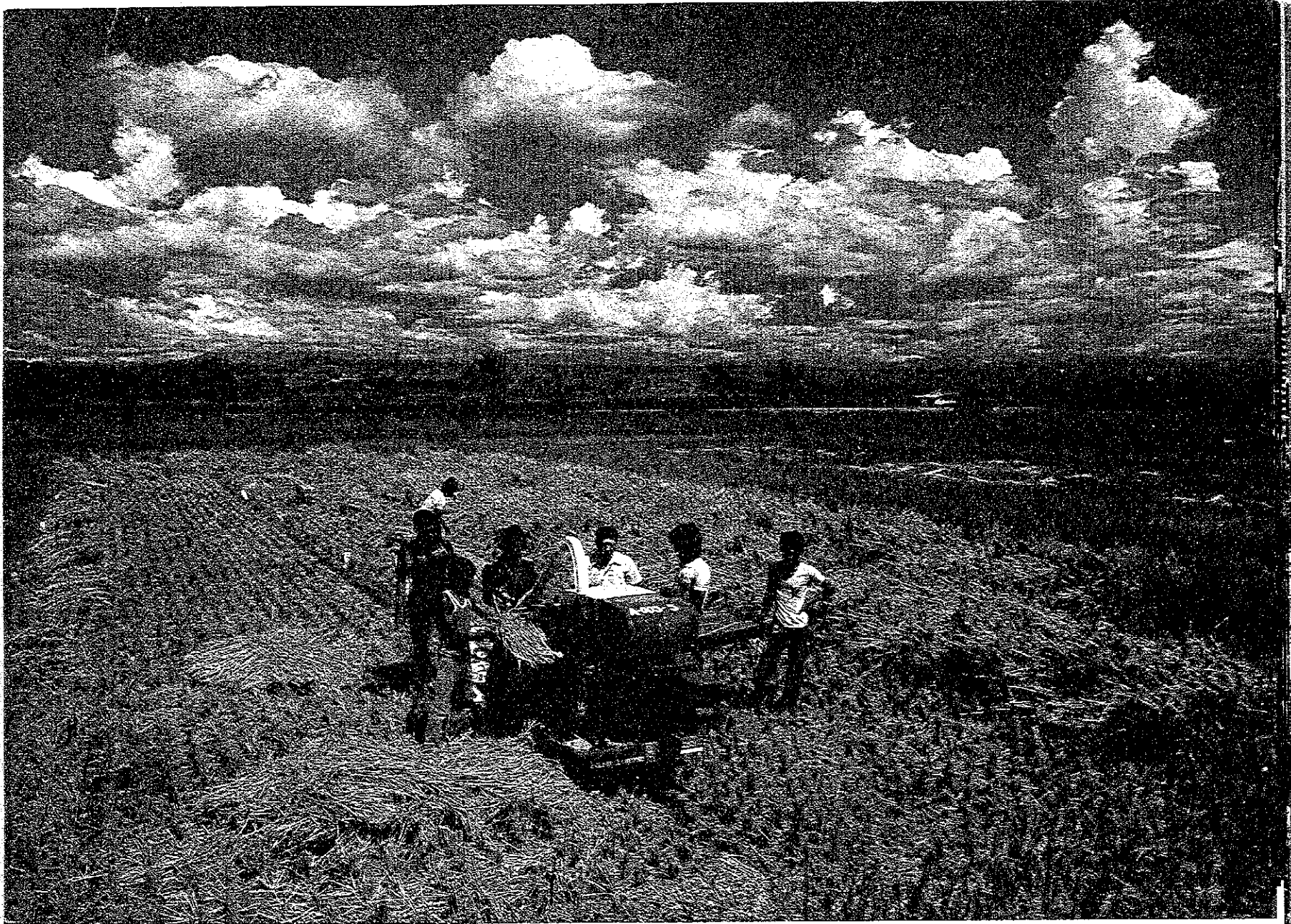


JICA等の融資によって整備されたニュータウン。



インドネシア／北スマトラのトバ湖。





(プロジェクト方式技術協力・無償資金協力)

フィリピン・カガヤン農業開発計画/食糧自給の達成を目的に地域開発を積極的に取り上げるフィリピン政府の協力要請に
 応えて、昭和50年2月にルソン島北部カガヤン州の総合開発を
 すすべく協力が開始され現在に至っている。わが国は主に農業基
 盤整備によってもたらされる稲の二期作普及と農業の生産性の
 向上を通じ農業の近代化に貢献することを目的に技術協力を行
 っている。

(プロジェクト方式技術協力・無償資金協力)

フィリピン・パンタパンガン地域森林造成計画/約8,000ヘク
 タールのパイロット・フォレスト造成を通して森林造成に関す
 る技術移転を行う。同時に研修施設として無償資金協力で森林
 保全研修センターの建設も行った。

